



パルコグループのCSR

URL: <http://www.parco.co.jp/group/csr/>

このPDFは、ウェブサイト「パルコグループのCSR」を各ページ出力したものです。

目次

▶ P.1 トップメッセージ

パルコグループは、先見的、独創的な「パルコらしさ=PARCO WAY」をもって、社会と共有できる「新しい価値」を創出してまいります。

▶ P.2 特集：次世代人材の成長を応援

パルコは新しい才能ある人たちを発見し、共に成長してきた企業として「次世代才能支援」に積極的に取り組んでいます。

P.3 FIGHT FASHION FUND

2011年度スタート。日本初。1口3万円。新しいファッションを応援するファンド、パルコから

P.5 PARCO next NEXT

2010年スタート。シンガポールの若手デザイナーたちのボーダレスな活動を支援

P.4 シブカル祭。

パルコの女子文化祭。新進気鋭の女子クリエーターによる最先端のエンタテインメント!!

P.6 once A month

パルコの自主編集ショップ。「季節のテーマ」を「編集」し、新しいストーリーを提供

▶ P.7 CSRの考え方

パルコはCSR基本方針を定め、さまざまな活動に取り組んでいます。

▶ P.9 CSRを支える基盤

▶ P.10 活動実績 4つの重点テーマ

P.11 次世代

P.14 文化

P.15 地域

P.18 環境

▶ P.20 CSR基本活動

P.21 お客さま

P.22 ご出店テナント

P.23 IR活動

P.24 従業員の尊重

P.25 安全・安心への取り組み

▶ 環境への取り組み

P.26 パルコグループ環境方針

P.27 活動実績

P.31 環境データ

編集方針

本報告書は持続可能な社会の実現を目指すパルコグループの経済、社会、環境に関する取り組みと実績を、お客さまをはじめとした、事業にかかわるすべての皆さまに報告するものです。

2012年3月に制定した「パルコグループCSR基本方針」で定めたCSR重点テーマに基づいた構成としております。

報告させていただく取り組みと実績は、パルコグループが2011年3月から2012年6月までの期間におこなった事例です。

※ 記載されている会社名・製品名・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

※ 人名・団体名・公共機関名などは、原則として敬称を略しています。

トップメッセージ



パルコグループは、先見的、独創的な
「パルコらしさ=PARCO WAY」をもって、
社会と共有できる「新しい価値」を創出してまいります。

パルコグループは、CSR（企業の社会的責任）とは経営理念の具現化であり、事業基盤そのものであると考えています。

「訪れる人々を楽しませ、テナントを成功に導く、先見的、独創的、かつホスピタリティあふれる商業空間の創造」。

この経営理念を、事業を通じて、ステークホルダーのご信頼とご満足をいただきながら実現することが、パルコグループのCSRであると考え、取り組みを進めています。

パルコグループは、4つの重点テーマを「文化」「次世代の人材」「地域」「環境」と定め、パルコグループそれぞれの事業分野の活動を通じて「パルコらしさ=PARCO WAY」をもって、都市生活者が心豊かになる社会の実現に貢献することをCSR理念としています。

この理念と重点テーマは、創業経緯や事業特性、社員の想いをふまえ、「パルコグループが社会に存在する意義」や「社会に提供すべき価値とはなにか？」について、真剣に議論を重ねた結果、定めたものです。

パルコは、1969年の開業以来、ファッションビルの運営だけではなく、音楽、アート、演劇、映画、出版といったエンタテインメント事業によりさまざまなカルチャーの紹介をするとともに、新しい才能の発掘・応援をおこなってまいりました。

人々の豊かさはモノだけで測れるものではなく、さまざまな精神的活動、心の豊かさもあって成立するものだと認識していたからです。

2010年秋からは、「LOVE HUMAN.」というメッセージのもと、改めて「ひとりひとりに合った心豊かな生活：Quality of Life」「新しい才能の応援、希望と夢が未来を切り開いていく」という企業の想いを発信しています。

経済成長を遂げ、成熟した日本において、生活者は心の豊かさを満たす生活、社会的価値を重要視する消費行動へ、今後もさらに変化していくと考えます。この傾向は、昨年の震災を経て、さらに進むと思います。

パルコグループは、先見的、独創的な「パルコらしさ=PARCO WAY」をもって、社会と共有できる「新しい価値」を創出してまいります。

このような時代環境や社会背景のもと、生活者の方々の想いを汲み取り、応えるために、パルコグループは、“都市のライフスタイルプロデューサー”として、「生活者の方々に心の豊かさを提供する」という強い意志を持ち、グループ一丸となって、ステークホルダーの皆様と一緒に時代を切り拓いていきたいと考えています。

そのために、パルコグループは、先見的、独創的な「パルコらしさ=PARCOWAY」をもって、社会と共有できる「新しい価値」を創出してまいります。

2012年6月
株式会社パルコ
代表執行役社長

牧 山 浩 三

特集：次世代人材の成長を応援

パルコの事業領域を活かした 次世代人材の成長支援

パルコは、創業当時より新しい才能ある人たちを発見し、共に成長してまいりました。2010年より改めて、コーポレートメッセージ『LOVE HUMAN.』を提唱し、才能ある人たちを応援していく企業として、「次世代才能支援」に重点的に取り組んでいます。

[「LOVE HUMAN.」メッセージについてはこちら](#)



FIGHT FASHION FUND by PARCO (ファイト・ファッション・ファンドバイ・パルコ)



日本のファッションを
応援するファンド
FIGHT FASHION
FUND by PARCO
(ファイト・ファッ
ション・ファンドバイ・
パルコ)

シブカル祭。



パルコ的女子文化祭
[シブカル祭。](#)

PARCO next NEXT (パルコ ネクスト ネクスト)



シンガポール若手デザ
イナーの育成プログラ
ム
PARCO nextNEXT
(パルコ ネクスト
ネクスト)

once A month (ワンス ア マンス)



パルコ自主編集ショッ
プ
[once A month](#)

特集：次世代人材の成長を応援



m y panda
(マイパンダ) /
中村 裕子

JUN OKAMOTO
(ジュンオカモト) /
岡本 順

日本のファッションを応援するファンド

FIGHT FASHION FUND by PARCO (ファイト ファッション ファンド)

2011年度スタート。日本初。1口3万円。

新しいファッションを応援するファンド、パルコから。

ファイト・ファッション・ファンド（FFF）は、日本を拠点に活躍する若手ファッションデザイナーのビジネスを「みんな」で応援する日本初のしくみです。次世代のジャパン・ファッションを担う才能と情熱を持ちながら、「次のステージ」に行くための「資金」「ファンやビジネスサポーター」「販売機会やPR機会」が充分ではないファッションデザイナーの事業成長を、1口3万円のマイクロファンド（少額出資）を通じて応援。直接的な「お金（ファイナンシャル・リターン）」だけでなく、出資者・出資先双方による「仲間づくり（コミュニティ・リターン）」、「事業成長（ビジネス・リターン）」の3つのリターンが得られるのが特徴です。

苦境に立つ日本のモノづくり

00年代後半以降のファッション業界は、ITによる商品管理や不透明な景況感により、売れ筋商品への同質化が進んでいます。グローバル化の波は、個店やSC、アウトレットモールなどのドミナント化にも拍車をかけ、2012年になった今でも、大量生産・大量消費・大量廃棄の経済システムの中に吞み込まれ、こだわりのあるものづくりをしたいと考える次世代デザイナーが成長していくのがとても難しい状況にあります。また、商品製作も低コストな海外への移転が進み、比較的高コストである日本の原材料や高い技術を持った職人や工場など、ジャパン・ファッションを支える基盤を継承することが難しい環境にあります。

新しい才能を応援し、日本のファッションを楽しくしたい。

ファッション業界におけるインキュベーションは、既に数多くおこなわれています。パルコとしても、トライアルスペースの提供や、ポップアップショップの企画、ネット通販などさまざまなカタチでサポートを行ってきましたが、今回、新たに、「ファイナンシャル・リターン」「コミュニティ・リターン」「ビジネス・リターン」の三位一体となった日本初の取り組みに、みなさんといっしょにチャレンジし、ファッションが世の中に与える意味を認識し、同じ思いを共有できる人たちといっしょに、未来を切り拓いていく「才能」を応援していきたいと思っています。

FIGHT FASHION FUND オフィシャルHP



ストアプランニング部

太田 江美（おおた えみ）

日本初の取り組みにもかかわらず、多くの方の公募、短期間での募集金額の達成と想像以上の反響をいただいております。これから本格的に運営がスタートして

いきますが、同じ思いを共有できる人たちがこんなにたくさんいることは大変嬉しく、励みとなっております。選ばれた2組のデザイナーの方々と応援して下さる皆さんと一緒に日本のファッションを盛上げたいと思っています。

特集：次世代人材の成長を応援



パルコの女子文化祭 シブカル祭。

新進気鋭の女子クリエイターによる

最先端のエンタテインメント！！

2011年10月28日～11月7日 計11日間※10月27日前夜祭

音楽、映像、作品、パフォーマンスなどさまざまなジャンルで活躍する若手女子クリエイター100組を10カテゴリーの部活に分け、彼女たちの作品を渋谷パルコのあらゆる拠点で紹介いたしました。前夜祭の開会宣言から始まり、ジャンルにとらわれない自由で、力強い作品、パフォーマンスの数々は観客を圧倒し、多くの共感と、反響を得ました。



PARCO＝イタリア語で広場・公園

イタリア語で広場・公園を意味する「PARCO」は、1969年の池袋パルコのオープンより、ファッションのみならず、音楽、アート、演劇、映像などの文化活動を積極的に紹介し、消費文化に彩を与えてまいりました。

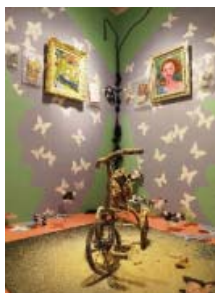
パルコを創造の場とし、新しい才能を持った方々や、それを楽しむ人々が集い、ムーヴメントを創ってきたことがパルコの強みだと思っております。

女性が消費文化をリードする

池袋パルコオープン当初の70年代初頭は、女性が社会進出を始め、女性のライフスタイルが変化してく始まりの時期でした。パルコは力強くしなやかに変化してゆく女性の姿を広告で表現し、積極的に女性のクリエイターや、女性のモデルを起用することで応援してまいりました。

そして今や、プロダクツデザインでは女性の視点を意識した開発や、女性のファッションスタイルで男性のトレンドが変化するなど、女性は強い消費者として消費文化をリードしております。

パルコがファッションにおいてもカルチャーにおいても自らを自由に、積極的に表現できる場として機能することでの女性の多様化するライフスタイルに楽しさを提案したいと想っております。



シブカル祭。オフィシャルHP



ストアプロモーション部

櫻井 愛（さくらい あい）

女性を応援し続けてきた企業として、「人が集う場所＝PARCO」という原点に戻り、女子クリエイターにパルコという「場」を提供しました。今後も表現作品の発表やクリエイター同士の交流の「場」として、次代の文化を発信していきたいと思えます。

特集：次世代人材の成長を応援



海外若手デザイナーのボーダレスな活動を支援

PARCO nextNEXT (パルコ ネクスト ネクスト)

「PARCO nextNEXT」は、シンガポールの若手デザイナーを育成するために2010年3月にスタートしたファッションインキュベーションプロジェクトです。今年3期目となります。

PARCO (Singapore) Pte Ltd とTextile & Fashion Federation (Singapore) (シンガポールファッション協会)が、スプリングSingapore (起業家を支援する政府機関)のサポートを受け、合同運営し、これまで55ブランドのサポートを行っています。今年は18組のデザイナーを選出し、18ヶ月間クリエイティブ及びビジネスの研修プログラムを提供しています。シンガポールのPARCO Marina Bay 内の販売スペースへの出店機会のほか、日本の店舗を活用し、出店機会の提供を行うなど、グローバルな取組をしています。

シンガポールは関税の撤廃・貿易システムのオンライン化などの機能を整え、物品・人・サービス・資本・情報の移動の自由向上を図り、東南アジア経済の中心的役割を果たしています。

香港と並び、欧米諸国のグローバル企業のアジア太平洋地域の拠点が置かれることが多く、東南アジアの金融センターとしての不動の位置を保っています。

また、近年は、中心地・郊外ともに新規商業施設のオープンが相次ぎ、活況を呈しているおり、豊かな感性を持つ消費者にとってアジアの経済発展の拠点として注目が高いマーケットです。

世界でもトップレベルにある日本のマーケットで培ってきたノウハウを活かし、海外若手デザイナーの活発なクリエイティブ活動を応援することで、ボーダレスに活躍する才能を育成いたします。

[年間の主な取り組み]

○2011年9月12日～9月16日 東京研修ツアー

参加に選ばれたデザイナーたちの育成プログラムとして毎年実施。日本の小売ビジネスの理解を深めることと、彼らのクリエイティブティと商業的な実現性のギャップを埋めていくことを目的として実施。

○2012年3月27日～4月4日 渋谷店期間限定ショップ実施

初めての取り組みとして渋谷PARCOにて期間限定ショップを展開し、日本のファッションマーケットを肌で感じる企画となりました。

○2012年5月19日 AFXランウェーショー参加

シンガポールで年1回開催される大きなファッションイベント

「AFX」(Asia Fashion eXchange・5/14-20・今年で3回目)の一環で、ファッションショーイベント「Audi Fashion Festival」へ参加しました。

PARCO Marina bay HP



担当者の想い

海外事業部

加戸 ゆかり (かと ゆかり)

3月にはPARCO nextNEXTの初めての取組として日本で期間限定ショップ展開を実施しました。今後もアジアの若く才能のあるデザイナーたちと共感共鳴しながら、様々な取組にチャレンジしていきたいと考えております。

特集：次世代人材の成長を応援



パルコの自主編集ショップ once A month (ワンス ア マンス)

「クリエイション力のある若手作家」「こつぶだけどきらっと光るメーカー」「季節が限定される旬の商材」をマーケットに提案し、販売していく場所として、ファッション界で活躍する3人のディレクターとともに、短いサイクルで「季節のテーマ」を「編集」し、展開しております。



クオリティ維持のために大量生産できないもの、季節商品のため長期で販売できないもの、才能はあるがショップを持つまでの資金力と規模を持っていないブランドなど、「ヒット」と「モノ」を繋ぐ「場所＝コト」を求めている才能あふれるデザイナーや、作家、メーカーはたくさん存在しています。パルコでは新しい才能を開花させる「場所＝コト」を一緒に創り、新しいコト消費のストーリーを提供したいという思いでディベロップ事業としては異例の「自主編集」という取り組みを立ち上げました。



全国パルコのネットワークを活かした商品提案

一緒に取り組みをされた方の中には、「once A month」をきっかけに急速に事業展開をされている方々もあり、着実に「once A month」で培ってきたネットワークは広がりを見せています。福岡パルコでは東京情報の受け入れだけではなく、福岡をベースに活躍されている方々ともチームを組み、福岡・九州でゆかりのある商品を常に取り扱い、売上も順調に推移しております。渋谷パルコの「once A month」では編集期間を「2倍速」というコンセプトとともに、より一層のイベント感を出し、月に2回の「作家・デザインテーマ」＋パルコ全国19箇所で開催するパルコの拠点性を活かした商品開拓でビルに彩を与える顔として「コト提案」を促進しております。



現在、日本のファッション界をリードする3名のディレクターの協力の下、実験的な取り組みを多く行っております。

ディレクター：山田遊（method）
馬場雅人（H.P.FRANCE /場と間）
泉栄一（M INO TAUR）

Once A month HP



新規ブランニング部

鈴木 美帆（すずき みほ）

「クリエイション力のある若手作家」「こつぶだけどきらっと光るメーカー」「季節が限定される旬の商材」を提案し、新しい才能を開花させる「場所＝コト」を一緒に創り、新しいコト消費のストーリーを作りたいと考えております。

CSRの考え方

パルコグループのCSR基本方針

パルコグループはCSR活動の定義を「事業を通じて、ステークホルダーの信頼と満足を得て、企業価値を高める取り組み」と考え、さまざまな活動を展開してきました。2010年には環境活動方針を定め、環境負荷の少ない商業空間の創造をはじめとした環境保全活動を推進しています。

2011年には「CSR基本方針」を策定し、「お客さま」「ご出店テナント」「従業員」「株主／投資家」「地域／社会」「地権者」「お取引先」という7つのステークホルダーと円滑な関係を構築しながら、経営の透明性確保などコーポレート・ガバナンス強化にも取り組み、CSR活動の質の向上につなげています。

同時に、2015年に向けたビジョンである、心豊かな生活提案をする「都市のライフスタイルプロデューサー」として、「文化」「次世代の人材」「地域」「環境」4つの重点テーマに則し、CSR活動に取り組んでいます。



CSRの考え方

お客さま

パルコグループは、ご出店テナント、地域・社会、お取引先など、すべてのステークホルダーに向けた取り組みを通じて、お客さまの信頼と満足を得る取り組みを進めていきたいと考えています。

ご出店テナント

パルコは、ご出店いただいているテナントの皆様とともに成長を目指す「イコールパートナーシップ」をショッピングセンター事業の基本とし、ご出店テナントをお互いの価値観の共有によってともに成長・発展していくパートナーと捉えています。bテナントスタッフの方々とコミュニケーションを密にとり、問題解決や新しい提案を実行することに加え、研修の機会を充実させるなど、イコールパートナーシップの実現に努めています。

従業員

パルコグループは、「人」すなわち「社員」の心と知恵によって支えられています。社員の心と知恵でお客さまに新しい提案をおこない続け、それに共感したご出店テナントがパルコを応援し、その結果、お客さまが共感をしてくださる、と考えます。社員ひとりひとりが生き活きと能力を発揮できる環境を整えることがすべてのステークホルダーに対して大切なことだと考え、多様性を担保する制度整備と風土醸成を進めています。

株主/投資家

株主・投資家の皆様に、パルコグループの企業活動を知っていただくために、適時・適切な情報の開示に努めています。重要な情報は、適宜、ホームページに掲載しています。また、随時、個人投資家向けの企業説明会の実施やホームページでの開示情報の充実など、幅広い投資家層を意識したわかりやすい情報開示にも努めています。さらに、外国人投資家の皆様とのコミュニケーションをより一層推進するために、英文でのIR情報の発信やファクトブックの和英併記、海外での個別ミーティングの実施などを継続しておこなっています。

地域／社会

パルコは、イタリア語で“公園”を意味します。パルコグループは“公園”すなわち、「人々が集い、時間と空間を共有し、楽しんだりくつろいだりする場(空間)」を提供し、地域や街の魅力向上に努めるとともに、先見的、独創的な事業活動を通して、都市生活者が心豊かになる社会の実現に貢献したいと考えています。

地権者

パルコグループは、ご出店テナントと同じく地権者の皆様も、「イコールパートナーシップ」の考え方にに基づき、公正・公平な関係の構築とお互いの価値観の共有によってともに成長・発展していくパートナーと捉えています。

お取引先

お取引先企業だけではなく、関連する業界全体への貢献を目指しています。

CSRを支える基盤

パルコは、CSR 活動を「事業を通じて、ステークホルダーの信頼と満足を得て、企業価値を高める取り組み」と考え、この基盤としてCSR 委員会とリスクマネジメント委員会から成るCSR マネジメント体制を構築しています。

また、持続的な企業価値向上のためには効率的で遵法かつ適切な経営体制の実現が重要という考えに基づきコーポレート・ガバナンス体制を強化し、経営の透明性の向上、有効な経営監視体制の構築、株主をはじめとするステークホルダーの皆様との対話の促進および権利の確保を図っています。

パルコの経営理念体系

コンプライアンス

コーポレート・ガバナンス

活動実績 4つの重点テーマ

4つの重点テーマについて

パルコグループは、2010年に発表した「中期経営計画2010-2012年度」において、企業ビジョンとして「心豊かな生活提案をする都市のライフスタイルプロデューサー」を掲げました。
この企業ビジョンを具現化するCSR政策として、「文化」「次世代の人材」「地域」「環境」の4つを重点テーマと設定しました。

次世代



パルコグループは、次世代を担う人材や才能を応援し、活力と多様性のある社会の実現に貢献します。

文化



パルコグループは、ファッション、エンタテインメントをはじめ、文化面で常に新しい価値提供や情報発信、市場創造をおこないます。

地域



パルコは、イタリア語で「公園」を意味します。パルコグループは「公園」すなわち、「人々が集い、時間と空間を共有し、楽しんだりくつろいだりする場（空間）」を提供し、地域や街の魅力向上に努めます。

環境



パルコグループは、全社一丸となって環境負荷の少ない商業施設の創造を推進します。

4つの重点テーマ～次世代

次世代型セレクトショップ「びやるこ」 2012年3月スタート 渋谷PARCO



「デザイン」「スクール」「WEB」「コミュニケーション」をミックスした情報発信型ショップとしてこの春スタート。日曜日から金曜日は高感度な人気デザイナーズ/ストリートブランドを扱うセレクトショップ、土曜日にはデザイナーが講師を勤めるファッションスクールを実施しております。

渋谷パルコ × 文化服装学院の期間限定コラボレーションショップ 2011年10月5日～13日／2012年6月5日～6月10日 渋谷PARCO



渋谷パルコでは、未来のアパレル業界を担う人材育成のための取り組みとして、文化服装学院とコラボレーションし、期間限定ショップを2度開催いたしました。文化服装学院の中で選抜された生徒達の手がけた商品を学生達自身が販売し、商品開発から販売にいたるまでのプロセス、販売に関する基礎知識を学ぶ機会となりました。

ファッション専門学校生による期間限定ショップ開催 2012年3月17日～25日 熊本PARCO



熊本PARCOでは地元ファッション専門学校「ヒロ・デザイン専門学校」の生徒に販売スペースを提供し、30名の生徒が半年に渡って制作した商品約150点を生徒達自らが接客・販売いたしました。

昭和女子大学キャリア演習連携 2011年7月19日～29日



学校法人昭和女子大学と連携し、同大の人間社会学部福祉社会学科福祉キャリアコースにおける、「福祉キャリア演習」を受け入れ、同演習のプログラムとして、参加する学生と当社社員が協働しながら、当社におけるCSR企画を立案し、参加学生から経営層に企画の提言をいたしました。

パルコ館内演出に若手クリエイターを起用



総合空間事業を担うパルコスペースシステムズは、商業施設や専門店の建築、内装をはじめ、照明、ディスプレイなどのプランニングにおいて数多くの才能ある新進デザイナーと協働しています。パルコの2011年クリスマス演出では、今後活躍が期待される新進気鋭のデザイナー「ティモテ」を起用し、斬新なデザインを全国のパルコで展開しました。

また、シンガポール「PARCO nextNEXT」にて、現地の若手デザイナーにショップ店頭でのディスプレイクリニックを受注。すでに3年連続クリニックを開催し、受講ブランドより好評いただいています。

次世代デザイナーの商品を共同開発



ヌーヴ・エイのアイウェア事業部ポーカークフェイスでは、日本のメガネ技術を伝承しながら新しいスタイルを創っている福井県を拠点としている「JAPONISM」の若手デザイナー笠島 博信氏、脇 聡氏両名とのコラボ商品を製作し、全国のポーカークフェイスで販売しました。福井県鯖江市の福井県眼鏡組合とは、めがねリサイクル活動でも協業しています。

ECサイト内での次世代クリエイターショップ展開



パルコ・シティでは通常のECサイトではなかなか扱っていない次世代クリエイターやデザイナーの稀少な商品を紹介し、販売する独自サイト「クリエイターズマンション」を運営しています。当初32ブランドから始まった本企画は現在64ブランドに成長しました。また、パルコ各店への期間限定リアルショップ出店もおこなっており、『ネットからリアルへ』ブランドの認知/ファン拡大機会を提供しています。」

<http://manshon.parco-city.com/index.php?num=1>

ピンクリボンキャンペーン

2011年10月1日（土）～11月30日（水）



TACTAC・ROSEMARY・annabeilleでは「ピンクリボンキャンペーン」を開催し、期間中、各ショップで対象商品をお買い上げ1点につき100円以上を認定NPO法人「乳房健康研究会」に寄付いたしました。また、パルコグループインナーキャンペーンも実施、女性のライフスタイルを応援する企業として、社員の意識改革を行っています。

若手アーティストの企画を実施。パルコミュージアムオープン

2011年10月28日 渋谷PARCO



企画が生まれる現場をみせる空間として新しく2011年10月28日に渋谷パルコパート1・3Fにフロアを移設。若手最注目フォトグラファー川島小鳥、マルチクリエイター大宮エリーなどの若手アーティストの初展覧会などを行いました。

<http://www.parco-art.com/web/>

世界が注目する若手ダンサーのライブKENTO MORI 1st DANCE LIVE 『DREAM & LOVE』を実施

2012年3月24日・25日 恵比寿ザ・ガーデン・ホール



2012年「LOVE HUMAN.」キャンペーンモデルとして起用した世界が期待する若手ダンサー「KENTO MORI」（ケントモリ）のライブを開催し、パワフルなライブを披露いたしました。

若手作家、演出家の作品を積極的に公演

PARCO 劇場



2011年8月「クレイジーハニー」

作・演出：本谷有希子

主演：長澤まさみ

「PARCO 劇場」では、長塚圭史、本谷有希子ほか、小劇場で人気の作・演出家をいち早く取り上げるなど、新進気鋭のクリエイターとジャンルを問わず新しい作品づくりに取り組んでいます。

<http://www.parco-play.com/>

多分野で活躍されるアーティストの作品も出版
PARCO 出版



フォトグラファーP.M.Kenによる日本の風景と海外の風景、文化も歴史も違う二つの地域を融和することで、新たな風景を創造する「crosspoint」や、数々の書籍装画等で活躍中の新進気鋭のイラストレーター、ワカマツカオリの初作品集「KAORI WAKAMATSU ART BOOK」、そして、才能あふれる女性アーティスト100名の作品集「THIS IS ME」など、さまざまな分野で活躍している若手アーティストの初出版作品も多数出版しています。

<http://www.parco-publishing.jp>

若手写真家パトリック・ツァイ写真展 「モダンタイムス」実施
2012年4月6日～4月18日 渋谷PARCO



（アメリカ人写真家パトリック・ツァイは、トル）キヤノンが開催する2011年写真新世紀にて優秀賞を受賞し、今年初の写真集「モダンタイムス」がナナロク社から刊行されるなど、今一番注目されている若手写真家、パトリック・ツァイの写真展を実施いたしました。

フレッシュヤーズ・キャンペーン「フレッフレ割」
2012年2月15日～5月6日



腕時計専門店のTICTACでは、期間中、新社会人・学生のお客様の腕時計購入1点につき100円を、「あしなが育英会」の東日本大震災遺児支援活動「東北レインボーハウス建設」資金に寄付に寄付いたしました。（寄付金総額1,648,700円）。

4つの重点テーマ～文化

PARCO 出版「前を向くカレンダー」
2012年1月～

PARCO 出版では東日本大震災の被災地支援として、俳優の渡辺謙さんと放送作家の小山薫堂さんが主催するKizuna311事務局と共同で、1冊購入すると被災地へ1冊届く『前を向くカレンダー』の制作をいたしました。

「kokeshipop ～ポップでカワイイこけしの世界～」
2012年3月2日～3月12日 渋谷PARCO

豊かな文化背景と、地域によって異なる表情をもつ日本の民芸品「伝統こけし」を新しい視点で再評価する展覧会を実施し、幅広い世代の多くの方にご来場いただきました。また本展覧会で販売した「伝統こけし」の売上の一部をKOKESH IEN！などを通じて東北への復興支援をいたしました。

ジェーン・バーキン来日公演、写真展

来日公演 2011年11月25日（金） 国際フォーラム

写真展 2011年11月3日（木祝）～11月15日（火） 渋谷PARCO



公演会場内では子供の音楽再生基金、国境なき子どもたちの募金を設置し、計134,266円を寄付いたしました。

また期を合わせ、写真展も開催し、展示される写真はすべて受注販売し、収益の一部は写真家ガブリエル・クロフォード氏より東日本大震災の被災者に寄付いたしました。

LOVE FOR NIPPON 366 ART HEART COCORO 1st. EXHIBITION
2011年9月3日～19日 渋谷PARCO

東日本大震災を受けて、多くのアーティストたちがスターター（呼びかけ人）として参加する、被災地復興支援プロジェクトLOVE FOR NIPPON。パルコファクトリーでは復興支援アートプロジェクトを実施。

アート作品のチャリティ販売をいたしました。会場内ではスターターたちが私物などを出品するチャリティフリーマーケットも同時開催し、本企画での収益につきましては、主催開催経費を除き全てを被災地復興支援いたしました。

オンライン・アートショップ「Living with ARTS」

2011年10月～ （株）パルコ・シティ



オンラインショッピングモールを運営するパルコシティでは「TOKYO FRONTLINE」と組み、世界的アーティスト名和晃平さんをはじめ、若手作家の作品を中心にセレクト&セールスするオンライン・アートストア「Living with ARTS」を運営しています。

WEBの技術を用いて、リアルの画廊に足を運べない方へも、アートに触れる機会を提供いたします。

<http://www.parco-city.com/livingwitharts>

4つの重点テーマ～地域

商業施設と連携、復興支援出張ショップ「スマイルマーケット」

2011年10月8日 仙台PARCO



南三陸町ベイサイドアリーナに、1日限定で仙台パルコと駅ビル「エスパル」による共同の復興支援企画である、出張ショップ「スマイルマーケット」を出店致しました。

衣替えシーズンに合わせ、秋冬のファッションを、衣服を被災された南三陸町の皆様が無償で提供する本イベントには、9月22日～25日の期間にてお客様からご提供頂いた衣服に加え、テナントの皆様方、また当社社員の提供により、合計で約8,000点もの洋服・雑貨が集まり、多くのお客様にご来場いただき、全ての衣類・雑貨をご提供することができました。

エリア隣接の商業施設と共同プロジェクト。仙台駅ファッションショー開催！

2011年9月17日 仙台PARCO



2008年仙台PARCOのオープン年から行っている駅前エリア共同プロジェクト「SENDAI HEART STATION」のプロジェクトの1つ。今回で3回目の開催となります。「ファッションで東北を元気に」をテーマに、東北地方の復興支援のためJMAA日本モデルエージェンシー協会より、北は札幌から南は福岡まで、全国9名のモデルが参加し、在仙モデル9名とあわせ総勢18名のモデルによるファッションショーが実現致しました。ショーの最後には、東北への応援メッセージを紹介しました。

近隣大学生と共にTABLE FOR TWOプログラムを実施いたしました

2012年2月14日～3月14日 渋谷、池袋、調布、吉祥寺、浦和、千葉、福岡計7店舗42飲食店



世界の食の不均衡を解消し、発展途上国と先進国双方の人々の健康を同時に改善することを目指す活動「TABLE FOR TWO」をTABLE FOR TWO 大学連合と連携し、パルコで実施いたしました。

参加レストランで対象メニュー等をご購入いただきますと、ご注文ごとに20円（開発途上国での給食1食分）の寄付金が、TABLE FOR TWOを通じてルワンダ、ウガンダ、エチオピア、マラウィ、タンザニアの子どもたちの学校給食となり、計6,940食を贈ることができました。

街場活性化ファッションイベント

2011年12月3日 熊本PARCO



熊本ファッションストーリー実行委員会が主催した街中ファッションショー「熊本ファッションストーリー2011 WASSA MODA (ワッサモダ) フェス」に参加し、衣装貸出などを行いました。

浦和PARCO × 埼玉大学「むつめ祭」、埼玉大学コラボファッションショー

2011年11月3日 浦和PARCO



地元 埼玉大学・学園祭「むつめ祭」にて開催された「ミス埼大コンテスト2011」を連携実施いたしました。浦和パルコから15ブランドの衣裳協力し、「ミス埼大コンテスト」会場では、ファッションショー「SAIDAIGIRLS COLLECTION 2011」も行われ、ファッションショーの後、ステージ上にて浦和パルコ賞・受賞者に浦和店店長より景品目録の贈呈がされました。

防災イベント開催

2011年11月19日 大津PARCO



大津市中消防署と防災イベント「防災キャラバン～学ぼう！体験しよう！～」を開催致しました。イベントでは、火災を模した「煙テント体験」・高度救助隊による「消防演習」・「起震車試乗体験」などなど、参加型イベントを行い、多くのお客様に体験していただきました。

びわ湖一斉清掃
毎年7月 大津PARCO



びわ湖一斉清掃は、大津市民にとってなにもものにも代え難い琵琶湖から受ける恩恵を保持するための市民運動です。大津PARCOではこの琵琶湖を美しくする運動に毎年参加し、近隣住民の皆様方とともに心地よい汗をかきました。

公園通り花プロジェクトで震災復興企画を実施
2011年5月 渋谷PARCO



公園通り商店街と連動し、毎年ゴールデンウィークに「公園通りフラワーフェスティバル」の実施協力をしています。
2011年は震災復興イベントも兼ねて、街路灯に250枚の復興メッセージフラッグを掲出しました。また、一般の方の参加による復興メッセージを募集し、2,000枚を被災地に届けました。

近隣百貨店と合同の打ち水活動
2011年7月 大津PARCO



大津パルコでは、近隣商業施設と連動し、打ち水を実施いたしました。夏の暑さを一時忘れさせるような、涼感を演出したイベントとなりました。

地元防災会の皆様が総合防災訓練に参加
2012年5月 松本PARCO



2011年6月30日に長野県中部地震が発生し、松本では震度5強の揺れを観測しました。この経験を訓練に活かしながら、実施しました。また、地元防災会の皆様には訓練に直接参加頂きました。
こうした地元と一体となった地域の安心・安全への取組みについてテレビ・新聞等で取り上げていただきました。

「げんべい」とのコラボレーション「チャリティビーチサンダル」
2012年4月～ (株)パルコ・シティ



パルコシティではビーチサンダル専門店「げんべい」とコラボレーションして、東日本大震災で被害を受けた「マリニピア松島水族館」「ふくしま海洋科学館」「仙台市八木山動物公園」の3園を応援するためのチャリティビーチサンダルを発売いたしました。
該当商品1点販売につき525円を、公益社団法人 日本動物園水族館協会に寄付します。
http://www.parcocity.com/shop/01gen332/01gen332/item/view/shop_product_code/gen038

表彰・感謝状

日ごろのPARCO 館内スタッフによる地域消防本部との消防訓練、安全活動の取り組みに対し、新所沢PARCOでは、2011年9月15日所沢市消防本部より感謝状を、浦和PARCOでは2011年11月18日さいたま市防犯協会主催《平成23年 さいたま市防犯・暴力排除・交通安全市民大会》におきまして、【暴力排除推進協議会ならびに浦和警察署長表彰状】を授与されました。

.....

4つの重点テーマ～環境

緑のカーテン

2011年7月～8月 ひばりが丘PARCO



夏期節電の一環として、建物内の温度を低く保ち、省エネ効果が期待できる「緑のカーテン」を設置いたしました。ゴーヤを正面入口にて育て、葉から水分が蒸発することによる冷却効果や、成長とともにカーテンのような遮光効果が生まれ、この「目にも環境にも優しいエコカーテン」はお客様や地域の方々の興味を引くものとなりました。

尚、本年度も2012年5月より緑のカーテンを生育中です。

アーティストとのコラボによるエコ・ショーウィンドウ

2011年5月～6月 池袋PARCO



オウムは「愛情」の象徴といわれており、人と人との絆を大切にしよう、というメッセージを込めています（池袋＝手袋＝手＝手をつなぐ＝絆）。オウムの制作に使用しているゴム手袋には、清掃スタッフが使い古したものを一部リユースしています。また、照明は消費電力の少ないLEDに切り替え、電気使用量の約70%をカットしました。

プレゼントツリーコラボウォッチ

2011年10月～ ヌーヴ・エイ



認定NPO法人「環境リレーションズ研究所」が展開する、「Present Tree（プレゼントツリー）」とコラボレートしたオリジナル腕時計を販売。商品の売上の一部を「Present Tree in 南九州」に寄付することで宮崎県高原町の森林再生活動に参加。時計10個ごとに九州の植生である広葉樹の苗木が1本植ええられる企画を実施いたしました。本商品は「東京デザイナーズウィーク 環境×デザイン展」に出店いたしました。

下取りキャンペーン～電力補完計画～

2011年7月19日～8月31日 ヌーヴ・エイ



コレクターズでは、お客様がご不要になったバッグ、財布、帽子の下取りキャンペーンを実施いたしました。下取り品は2,625円以上のお買い上げごとに1枚ご使用いただける500円クーポンと交換、下取り品1点につき50円を東日本大震災の被災地寄付へ、回収品はサマールリサイクルされ、電力に生まれ変わると同時にCO2削減に繋がります。

もったいないウォッチ エクスチェンジ

2011年10月1日～10月31日 ヌーヴ・エイ



腕時計専門店のTIC TAC事業部では本年度で2回目となる「もったいないウォッチ」エクスチェンジ！を開催し、ご不要の腕時計1点につき、2,000円のクーポン1枚で下取りいたしました。

ライトダウンキャンペーンへの参加
2011年6月・7月 PARCO 各店



宇都宮PARCO

環境省の呼びかけによる「ライトダウンキャンペーン」に参加しています。2011年度も6月22日「夏至」および7月7日「クールアースデー」の2回、PARCO各店でライトダウンを実施致しました。両日とも各店では、屋上照明や看板照明等を一齐に消灯し、省エネ取組みに協力しています。

屋上緑化への取組み



池袋PARCO 屋上

池袋PARCO と仙台PARCO では、屋上緑化活動の一環として、屋上に芝生を生育しています。屋上緑化は、ヒートアイランド現象の抑制効果をもたらすといわれています。

ごみ減量キャンペーンへの協力【主催：調布市環境部ごみ対策課】
2011年7月 調布PARCO

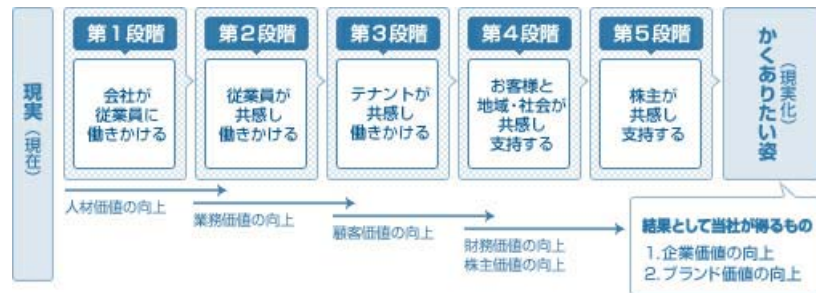
夏期は水分を含むごみが特に多くなり、ごみ焼却によりエネルギーを使うことになります。水切りネットの配布を行いながら、ごみ減量の呼びかけを行いました。

節電コンテスト実施
2011年6月～8月 ひばりが丘PARCO

ショップ毎の電気使用量を前年同月と比較するとともに、涼を感じられる商品の提案や店内のディスプレイの工夫を競ったコンテストを行いました。これを通じ、館全体で節電意識の高まりにつながりました。

CSR基本活動

CSRの取り組みは「事業活動=本業」を通じた活動だと定義しています。当社ではステークホルダーを経営理念に謳われている「お客さま」「ご出店テナント」をはじめ、「従業員」「株主／投資家」「地域／社会」「地権者」「お取引先」の7つと定義し、ステークホルダー皆様から共感を得、支持されることにより企業価値が向上すると考えています。



お客さま

ご出店テナント

IR 活動

従業員

安全・安心

CSR基本活動

お客様

お客様の声を反映したサービスの向上

販売員やインフォメーションスタッフが接客中でお伺いしたご意見などを当社スタッフが情報収集、お電話やお手紙、メールにて頂戴したお客様からのお褒めやお叱りの声をデータベース化し、全社にて共有し、これらをもとにサービスの改善に取り組んでいます。

授乳室・パウダールームの改善



お客様のご意見を反映させながら、授乳室の設置、パウダールームの新設や改善などを行っております。

ベビーカーの貸出し

館内にベビーカーを設置し、館内で必要とされるお客様にお貸出ししています。

救護室の設置

館内で体調が悪くなったお客様のために救護室をご用意しております。

ポータルサイトでの情報発信



お客さまとのコミュニケーションの一つとしてポータルサイトを公開し、当社に関するさまざまな情報を提供しています。サイトでは、PARCO 各店舗情報や企業情報、ニュースリリース、各種お知らせを掲載するなど、タイムリーな情報を公開しています。アクセス集中時にも快適にご利用いただける改修や、見やすさ、使いやすさに配慮してリニューアルするなど、安定的・機能的にポータルサイトを運営しています。

CSR基本活動

ご出店テナント様

イコールパートナーシップ

パルコの大きな特徴は、ご出店テナントとの「イコールパートナーシップ」です。私たちは、ご出店テナントをお互いの価値観の共有によってともに成長・発展していくパートナーと捉えています。

パルコ会活動



パルコは、ご出店いただいている約800社、2,800テナントの皆様とともに成長を目指す「イコールパートナーシップ」を店舗活動の基本としています。その関係性の維持・発展を推進しているのが、ご出店テナントで構成されているパルコ会です。パルコおよびパルコ会メンバーは、イコールパートナーシップの精神のもと、地域への貢献と共同の繁栄を目指して一体となって取り組みます。

テナントスタッフサポート体制



パルコでは店頭立つテナントスタッフの皆様をサポートするため、入店前のオリエンテーション研修に始まり、リスク管理研修、接客力向上を目指したスタッフ育成研修を実施しています。都心型店舗、コミュニティ型店舗にあった研修プログラム「チーム対抗！ロールプレイングコンテスト」「接客実態調査」を用意し、各店舗で積極的に取り組んでいます。

「パルコショップスタッフ・コンプライアンス通報窓口」

社員の通報制度に加え、テナント従業員の当社にかかわる法令・コンプライアンス違反事項に関する相談・通報窓口を、2010年に新設しました。パルコのショップで働くすべてのテナント従業員を対象に、職場のルール違反をなくし、テナント従業員が安心して日々の仕事に取り組むことで、より働きやすい職場を作ることを目指しています。

CSR基本活動

IR 活動

IR に関する基本方針

パルコは、株主や投資家の皆様に向けた、透明性、公平性、継続性を基本とした迅速な情報提供に努めています。金融商品取引法および東京証券取引所の定める適時開示規則等を遵守した情報の開示に努めるとともに、当社をご理解いただくために有効な情報を、積極的に開示しています。パルコサイト内の「企業情報・IR」を充実、メディアへの情報発信をおこない、また、国内外での説明会、各種印刷物をはじめとするさまざまな情報媒体を通じて、株主や投資家の皆様がアクセスしやすい環境でわかりやすい開示をおこなうよう努めています。さらに情報を受け取りやすくするために、本年度より、RSS、facebook、Twitter、による情報発信も開始いたしました。

半期ごとの決算説明会



半期ごとに決算説明会などのアナリスト説明会を開催しています。

国内での個人投資家説明会

個人投資家の皆様に、パルコへのご理解を深めていただくため、個人投資家説明会を不定期におこなっています。

CSR基本活動

従業員の尊重

社員のワークライフバランス支援制度



パルコでは社員のワークライフバランスの充実を図るため、育児・介護を中心とした支援に取り組んでいます。育児休業は満1才を迎えた次の4月10日まで（正社員）、育児のための勤務時間短縮は小学校就学前まで、配偶者出産休暇、子の看護休暇は入社1年目から取得可能としているほか、育児・介護を理由にした場合の失効年次有給休暇の復活、勤務地域選択、再雇用制度なども導入しています。

（当社の社員のうち、）2011年度中に女性20名が育児休業を、他に男性1名が育児目的で長期有給休暇を取得しています。2006～2011年度の育児休業取得者はのべ44名（内、男性4名）です。また、年次有給休暇の半日取得、単身赴任者に対する帰省旅費の支給を導入、社員の家庭と仕事の両立の充実を図っています。

なお、2007年8月には、次世代育成支援対策推進法に基づき、雇用環境の整備について適切な行動計画を策定・達成した「基準適合一般事業主」として認定され、「くるみん」マークを取得しました。「くるみん」は、仕事と育児の両立支援に積極的に取り組む企業の認定マークで、2011年7月末時点で、全国で1,121社が国から認定を受けています（厚生労働省HPより）。

次世代育成支援対策推進法事業報告書

ダイバーシティ推進プロジェクト

～多様な人材の活用・育成を通じ、企業価値の向上を目指す～



多様な価値を認めあい、すべての社員が持てる能力を発揮し成長機会を実感できる、そんな社風の醸成が事業基盤をより堅固なものとし、企業の発展につながると思います。こうした考えのもと、パルコでは2005年11月から「パルコ・ウィメンズ・ネットワーク（PW N）」として、女性活躍推進を通じてダイバーシティの実現を目指す全社横断的なプロジェクトを立ち上げました。2011年3月より男女を問わず全社員を対象とした「ダイバーシティ推進プロジェクト」へと改組し、職場や個人の意識改革を図るための方策や、社員のキャリアアップのために必要な提言など、多様な見地での活動をおこなっています。

2011年度は、基本テーマである「働き方の多様性」に加え、「次世代キャリア意識の醸成」ということをテーマに活動し、育休復職者やその上司のインタビューを参考に作成したマネジメントヒント集の配布、他部門の仕事をケーススタディで学ぶ交流会、ロールモデル社員の紹介、役職者向け講演会などを開催いたしました。

社員フォーラムの実施



業績や今後の方向性などについての情報を全社員で共有するため、「社員フォーラム」を開催しています。各店舗など本社勤務以外の社員も参加できるようWeb会議システムを使用し、社長からのプレゼンテーションや、社員からの質問・意見についての議論をおこなっています。終了後には、全社員がいつでもアクセスできるようイントラネット上に内容をアップし、浸透を図っています。

CSR基本活動

安全・安心への取り組み

パルコでは地域の皆さまが集う拠点として、来店されるお客様の安心・安全を守るため、様々な対応を図っております。そのために以下の三つの面からのアプローチに取り組んでいます。一つ目は「生活の安全」、二つ目は「売場の安全」、そして最後は「生命の安全」への取り組みです。

「生活の安全」への取り組み



私たちの提供する商品は、なによりお客様の生活の安全を保障するものでなければなりません。食品・食材の安全性を例にとると、パルコに出店されているテナントの皆さまが厳重な衛生管理をされているのはもちろんのことですが、良い意味での緊張関係を保つ意味でもパルコは独自の衛生検査を定期的実施しています。厨房の衛生状態や食品・食材の保管状況はもとより、消費期限等の表示についても一つ一つ確認をしています。

「売場の安全」への取り組み



札幌PARCO 消火技術訓練大会

たくさんのお客様をお迎える以上、ご来店されるお客様の安全を図ることは当然のことです。例えばパルコの売場にはショーウィンドウなど多数のガラス面がありますが、これらには万が一に備えて「飛散防止フィルム」が貼られています。大型の陳列棚には転倒防止措置が施されています。

防災活動には専門のスタッフがあり、日々訓練を行っています。各地の消防署主催の「消防技術研修会」にも積極的に参加しており、良好な成績を収めています。

また売場のショップスタッフに対しても、的確な初期消火ができるよう消火器の使用法などを教育しております。緊急時に迅速な対応ができるよう、ショップから防災センターへの通報システムも完備しています。

「生命の安全」への取り組み



ご来店されるお客様には、怪我や急な発病に遭われることもあり得ます。こうした事態に備え、パルコの警備員やメンテナンススタッフは、全員が消防署による「救急救命講習」を受講しています。またAED（自動体外式除細動器）も全店に配備しており、これらの操作訓練も受けています。実際に近くで歩道で倒れた方を救命したこともありました。各地の中心街に立地する商業施設として、こうした面でも社会的な貢献ができれば幸いです。

地震防災訓練の実施

パルコでは、多くのお客様にご利用頂く商業施設として、災害発生時に速やかにお客様の安全を確保するため、販売からメンテナンスまで全てのスタッフが丸となって防災対策に取り組んでいます。2011年3月11日の東日本大震災の教訓を基に、避難誘導のみならず建物と避難通路の安全確認から怪我人の救出・搬送訓練など、様々な状況に応じた取り組みを行っています。今後発生する可能性が高い、首都圏直下型地震を念頭に、実践的な訓練を継続していきます。

環境への取り組み

パルコグループ環境方針

基本方針

パルコグループは、ショッピングセンター事業とそれに関連する活動分野のなかで、地球環境との関わりを重要テーマと認識し、持続可能な社会を次世代に残していくため、環境保全活動を推進してまいります。そのため、パートナーであるテナント企業をはじめ取引先企業と協力し、また、お客さまや地域の方々のご理解を賜りながら、環境負荷の少ない商業空間の創造を目指します。

行動指針

環境保全活動

1. パルコグループすべての店舗及び事業所において、環境に配慮し省資源・省エネ化を進めます。
環境への取り組みについて定期的に検証を行い、継続的な改善を実施します。
2. 商業施設の使用エネルギーの大半を占める電気使用量の削減に取り組みます。
特に、ショッピングセンターの営業に欠かせない空調機・昇降機・照明器具など各種設備機器の省電力化に努め、さらに最新技術の導入などにより、効率的なエネルギー使用を目指します。
3. パートナーであるテナント企業などと協力しながら、冷房温度の緩和など館内温度適正化、設備機器の運転時間の適正化による省エネを継続します。
4. パートナーであるテナント企業などと協力しながら、リサイクル・リユースの推進と廃棄物の排出抑制に取り組み、環境負荷を低減すべく努めます。
5. 店舗の計画においては、建築・設備・内装デザインの全てに渡って、環境負荷の少ない新しい商業施設の創造にチャレンジします。

地域活動

6. 地域社会の一員として、社会貢献活動に積極的に参加し、ホスピタリティあふれる街づくりに貢献します。

イベント活動

7. パルコグループが主催するイベントや販売促進活動においても、環境テーマを取り入れたキャンペーンを積極的に実施します。

社員意識と教育

8. パルコグループの全社員は、自身が環境保全活動の当事者であることを意識し、リサイクル・省エネ・ゴミの分別など、職場・家庭を問わず環境改善につながる活動を率先して行います。
また、パルコグループは、パートナーであるテナント企業などと連携しながら、この活動が促進されるように社員に働きかけ支援します。

法令遵守

9. パルコグループの全社員は、人と地球環境に配慮した活動を行い、環境に関する条約、法令等を遵守します。

環境への取り組み

2011年度節電実績と2012年度活動方針

パルコグループは、11年度夏期電力供給不足に対し、節電の実施と魅力ある商業空間作りとの両立に取組みました。照明の優先順位をつけ、節電をしながらも視覚的な明るさを維持した空間演出を検証し、メリハリのある照明計画を導き出しました。こうしたパルコの取組みが評価され、新聞・雑誌・TV等でも紹介していただきました。12年度も引き続き経済産業省の節電目標を達成できるよう、地域ごとに対応すると共に、11年度に得たノウハウを活用してまいります。



店舗照明を全て点灯



節電しながら視覚的な明るさを維持

CO₂排出量削減への取り組み

【館内空調温度の緩和】



2011年度夏期
店舗入口ステッカー

フロア毎・時間帯別に館内温度を実測し適切な温度管理を徹底しています。昨夏は節電による照明消灯で、放熱の低減による空調負荷の軽減もあり、CO₂排出量をより多く削減することができました。その後も、年間を通じて空調の間欠運転や外気取入量の最適化を積極的に行っております。

【照明LED化の推進】



LED照明の導入
(池袋PARCO 8階)

LEDを中心とした省エネ型照明器具の積極的な導入により、器具自体から発する熱量の抑制と、CO₂排出量の低減に努めております。2011年度は、フロア改装時を中心にLED化を推進したことに加え、ハロゲン電球5,000灯をLED照明に交換しました。

《2011年度主なLED化推進店舗》

池袋PARCO本館：3階、7階、8階 札幌PARCO：5階
吉祥寺PARCO：1階 熊本PARCO：3階、7階

【ショップにおける環境負荷の軽減】

ショップの新規出店や改装時に店舗設計段階から電気支給容量の抑制を図っているほか、グループ会社であるパルコスペースシステムズ連動のもと、各ショップの省エネ診断や省エネサポートを実施するなど、省エネ化を推進しています。

【電気の購入先変更によるグリーン電力証書の調達】

一部店舗では、電力供給元と年間CO₂約660t分相当の「グリーン電力証書」(太陽光などの自然エネルギーで得られた電力の付加価値を証書化したもの)を調達する契約を締結しています。将来のCO₂排出量の削減義務履行時に活用していく予定です。(協力:オリックス株式会社)

《対象店舗》

宇都宮PARCO、池袋P'PARCO、渋谷ZERO GATE、ひばりが丘PARCO

リサイクル・リユースの推進



廃棄物計量器
(浦和PARCO)

テナント企業のご協力のもと、事業所ゴミの減量・再資源化に積極的に取り組んでおります。プラスチックハンガーの再利用や、ダンボール、廃油の100%リサイクル、生ゴミの肥料化によるリサイクル等を積極的に実施しています。さらに廃棄物計量器を利用し、テナント毎の品目別排出量の見える化を推進、リサイクルできる品目は確実にリサイクル化していく体制を整備しています。

施設・設備・運用面での取り組み



中水設備



コージェネレーションシステム

PARCO 全店舗を対象に、春期・秋期・冬期の外気冷房の採用、省エネランプの導入やスイッチタイマーによる節電に取り組むとともに、節水型バルブ、トイレ擬音装置、自動節水センサー導入などによる節水に努めております。また、井戸設備による地下水の汲み上げ、湧水・中水・雨水の清掃やトイレ排水などへの利用にも取り組んでおります。名古屋PARCO、浦和PARCOではコージェネレーションシステムを採用し、発電により生じた廃熱を給湯・プールなどに有効利用しています。

環境に配慮した商品の購入



カーボンオフセット設定の清掃用品

コピー用紙は環境負荷低減につながるものを優先的に選び、社内備品の一部（文房具や各種ファイル、DVD ディスクなど）はグリーン購入法（「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」）に対応した商品の購入（グリーン購入）を実施しています。また、カーボンオフセットを設定した清掃用品（洗剤・ワックス）の購入を進めてCO₂削減に寄与しています。

社内への働きかけ

【コピー用紙使用量の削減】

社内事務所において、コピー用紙の両面印刷やN アップ印刷（複数ページデータを1ページにレイアウトしてプリント）、ミスコピー用紙の裏紙印刷を推進し、コピー用紙使用量の削減に努めています。複合機から出力する際に社員番号を入力し、ミスコピー印刷を防ぐシステムの導入も進めています。社内手続き書類や掲示文書などはオンライン化し、ペーパーレスシステムを構築しています。

【ペットボトルキャップの回収】

パルコグループでは、NPO 法人エコキャップ推進協会を通じてペットボトルキャップをリサイクル資源として売却し、利益を国際支援団体※に寄付しています。2011年度までに累計約85万個分のペットボトルキャップの売却金を寄付しました。寄付金はワクチンの購入代金や被災地の復興支援などに活用いただいています。

※国際支援団体：「NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」

【クールビズ・ウォームビズ】

空調エネルギー使用を削減するために、社内事務所の室温設定を夏期・冬期それぞれで設定し、クールビズ及びウォームビズを実施しています。2011年度は夏期の節電を推進するため、例年よりクールビズ期間を延長し、室温も従来よりも1℃高い28℃設定と致しました。社員にはノーネクタイ・ノージャケットのほか半そでシャツやポロシャツなど、夏期の職場環境において快適に仕事ができるスタイルを奨励しています。

【社員の意識向上】



パルコでは、社員一人ひとりが身近な問題として環境について考える機会となるよう、環境省主催の「チャレンジ25キャンペーン」に参画するとともに、東京商工会議所主催の「環境社会検定試験®（eco検定）※」の受検を社内で奨励しています。2011年度はパルコで80名が新たに合格しました。（パルコグループ合格者累計…202名）検定については、受験料の全額支援並びにテキストの配布・貸出しを行い、社員が受検しやすい社内制度を設けています。

環境への取組みにおける表彰

【福岡PARCO BELCA 賞受賞！】



2010年3月に開業した福岡PARCOは、旧岩田屋のビルを受け継いで長年親しまれてきた歴史あるビルの面影を残しながらも、新しい建築デザインとして再生し、第21回BELCA賞ベストリフォーム部門表彰建物に選出されました。福岡PARCOの大規模改修にあたっては、安全性・事業性・環境面の3点がポイントになっています。安全性向上においては耐震・防災・バリアフリー対応改修、事業性においては店舗レイアウトや内装デザインが評価されました。また環境面では、外壁の通風機能形成による冷房負荷軽減、外壁や店舗内共用通路へのLED照明採用、さらに外壁の光触媒コーティングによる清掃頻度の低減などの環境上の配慮が評価され、受賞にいたりしました。

※BELCA賞… 適切な維持保全を実施したり、優れた改修を実施した建築物のうち、特に優良な建築物の関係者を毎年度表彰し、良好な建築ストックの形成に寄与することを目的とした賞

〔主催：公益社団法人ロングライフビル推進協会 (BELCA)〕

【調布PARCO】エコ・オフィス制度ゴールド認定

調布PARCOでは、調布エコ・オフィス認定制度においてゴールド認定を受けました。この認定制度は、地球に優しい事業づくりを応援するために調布市が行っている制度です。積極的にごみ減量、リサイクル、意識啓発に取り組んでいる事業所をゴールド、シルバー、ブロンズの三段階で表彰、認定しています。

【吉祥寺PARCO】Ecoパートナー認定

吉祥寺PARCOでは、武蔵野市Ecoパートナー認定を受賞しました。この認定制度は、事業系廃棄物の減量を促進するために武蔵野市が行っている制度です。雑誌、生ゴミの資源化などで一定基準に適合した事業者に対して表彰、認定しています。

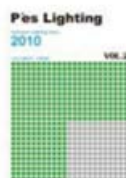
環境配慮型商業施設への取組み

【業界初！「ISO 50001」認証取得】



グループ会社のパルコスペースシステムズの本社は、エネルギーパフォーマンス、エネルギー効率や省エネルギーの継続的改善を図ることを目的とした国際規格である「ISO 50001」について、2011年8月12日、一般財団法人日本品質保証機構 (JQA) より認証を取得しました。これは、設計・施工・ビルマネジメント業界内では初の認証取得であり、今後もこれを活かし、環境負荷やエネルギーコストの低減に配慮した提案を積極的に進め、業務受託の拡大を目指します。

【P'es Lighting (ピースライティング)】



グループ会社のパルコスペースシステムズでは、環境負荷低減に配慮したオリジナル照明器具「P'es Lighting」を他社との協業により開発し、販売しています。LED照明などと組み合わせ、ECOをテーマとしたデザインや内装工事、ビルメンテナンスをトータルで提案しています。

【パルコへのP'es Lighting 導入】



共用部LED照明
(吉祥寺PARCO 1階)

パルコ全店舗で「P'es Lighting」を共用部の指定器具及びテナントに対する推奨器具として選定し、積極的に展開しています。また、パルコ各店の共用部に使用されているハロゲンランプのLEDランプ交換を順次進めています。さらに、パルコグループ総合受付（渋谷ファーストプレイス9F）にLEDショールームスペースを設置、ご来訪のお客様にもご覧頂いております。

【主な外部実績】

ノースポート・モール、そごう・西武（池袋西武ほか）、アミュプラザ（鹿児島・長崎）、クラチカヨシダ

【最新LEDの比較検証会実施】

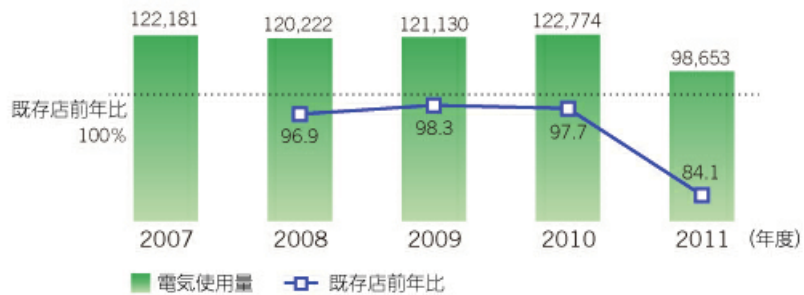
クライアントの求める空間条件に見合った最適な照明計画を提供するために、メーカー等と協力しLED照明器具の比較検証会を定期的の実施して、最新器具をはじめ、様々なメーカーや各種タイプの照明器具の性能および省エネ効果を検証しています。



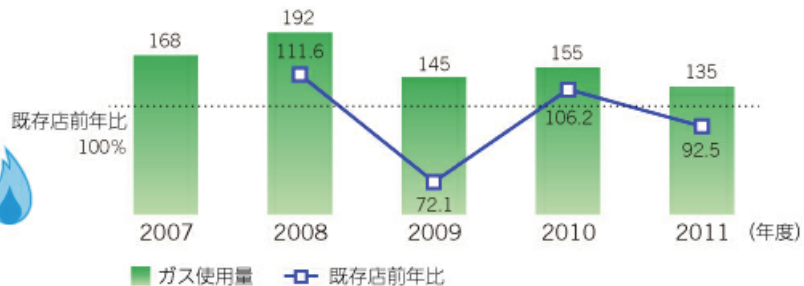
環境への取り組み

環境データ

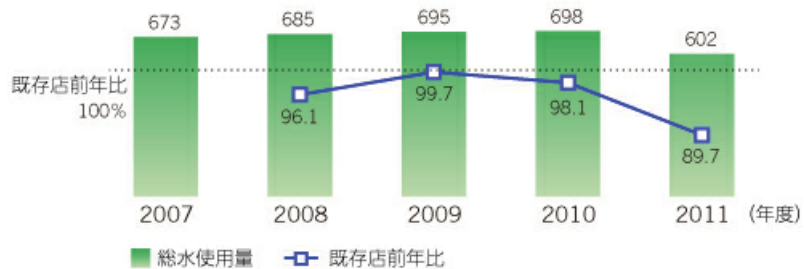
INPUT

電気使用量
(千 kw/h)

2011年度は、夏期を中心とした通期での節電実施もあり、前年に対して大きく電気使用量を削減しました。削減効果の大きい館内空調温度管理の徹底と照明器具のLED化は引き続き、推進していきます。

ガス使用量
(千 m³)

ガスの大部分は空調機設備の動力に使用しています。2011年度は、夏期を中心とした通期での節電実施もあり、前年に対して大きくガス使用量を削減しました。

総水使用量
(千 m³)

節水装置の普及拡大により、既存店ベースでは使用量は減少傾向にあります。

OUTPUT

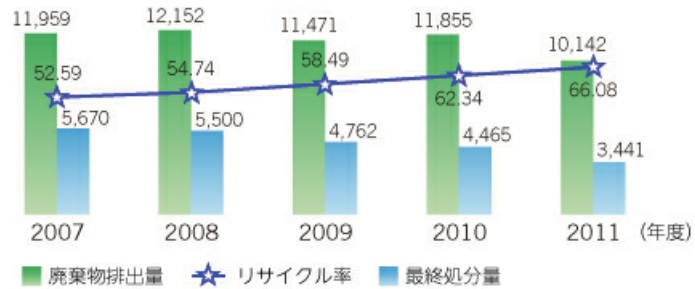
CO₂ 排出量
(t)

2011年度は、夏期を中心とした通期での節電実施もあり、前年に対して大きくCO₂排出量を削減しました。
※改正省エネ法対応による計算方式の変更に伴う再計算のため、2010年度以前のCO₂排出量は、昨年度のCSRレポートに記載した数値とは異なります。

廃棄物排出量 (千 kg)

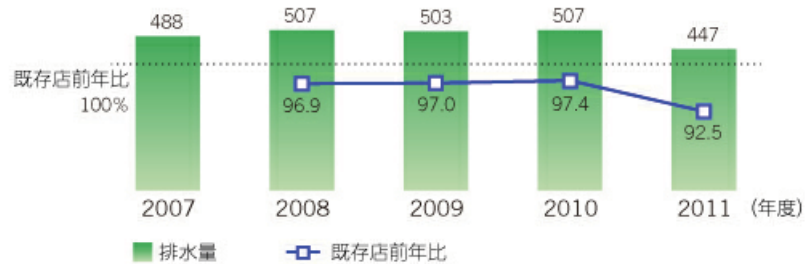
リサイクル率 (%)

最終処分量 (千 kg)



廃棄物排出量と最終処分量の削減取り組みを継続した結果、リサイクル率は毎年向上しています。

排水量 (千 m³)



水使用量の削減に努めた結果、既存店ベースでは排水量も同様に減少傾向にあります。

既存店前年比については、

2007年度	静岡PARCO・浦和PARCO 開業、厚木PARCO 閉店
2008年度	仙台PARCO 開業
2010年度	福岡PARCO 開業、大分PARCO 閉店
2011年度	心斎橋PARCO 閉店

に基づき算出しています。

尚、廃棄物排出量・リサイクル率・最終処分量以外の環境データ数値はテナント区画を除いたものです。

組織体制

パルコでは環境への取組みをより強化していくため、2012年度よりこれまでの「CS／環境部」から「環境／店舗管理部」へと名称変更致しました。パルコグループ環境方針のもと、全社一丸となって環境保全活動のさらなる推進に努めてまいります。